令和４年度　　社会科歴史・公民経済分野　　３年　　年間指導計画・評価計画

***評価基準→①知識②表現③態度**

	月	時数	単元名 項目名	学習目標 学習内容	評価の観点 知	思	態	評価規準 **評価方法**
1学期	4月	8	４節 日露戦争と近代産業 1節 第一次世界大戦と日本	・我が国の産業革命によりこの近代文化が形成されたことを理解する。 ・日露戦争と近代産業について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付ける。 ・第一次世界大戦の背景とその影響を国際社会の中で理解する。 ・第一次世界大戦前後の国際情勢について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現する。	○	○	○	①我が国の産業革命を基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解している。 ②対外戦争を経て近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③日露戦争と近代産業について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ①第一次世界大戦の背景とその影響で国際平和への努力がなされたことを理解している。 ②第一次世界大戦前後の国際情勢について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③ 第一次世界大戦と日本について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 （学習に取り組む態度、ミニテスト、定期考査）
	5月	15	２節 大正デモクラシーの時代 ３節 世界恐慌と日本の中国侵略 ４節 第二次世界大戦と日本	・大正デモクラシーの時代について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付ける。 ・経済の世界的な混乱と社会問題の発生，第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現，第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考える。 ・戦時下の国民生活の実態を理解する。	○ ○	○ ○	○	**①我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。** **②世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現を多面的・多角的に考察し，表現する。** **③大正デモクラシーの時代について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。** **①経済の世界的な混乱と社会的問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動きを知り、大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解している。** **②第一次世界大戦後の国際情勢と大衆の出現，第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。** **①日本国内のみでなく占領下における状況も理解している。** **②戦争と国民への影響について関心を持ち，自分の意見を述べている。** **（学習に取り組む態度、ミニテスト、プリント提出、定期考査）**
	6月	16	第７章現代の日本と私たち 戦後日本の出発 日本の高度経済成長 冷戦後の国際社会	・日本の国際社会への復帰や，その後の国際社会での活動が，冷戦など国際情勢の影響を受けて行われたことを理解する ・冷戦などの国際情勢により，国内の状況がどのように変化していったかを考える。 ・冷戦終結後の世界の課題がどのような特徴を持っているのか国家の関わり方に着目して考える。	○ ○	○ ○	○	①占領下の日本で，様々な改革が行われ，民主的な新しい日本が建設されていったことを理解している。 ②新しい日本が民主的な国家を建設していった過程を，占領下の諸改革や国民の苦難と関連させながら，多面的・多角的に考察し，表現している。 ③国民たちが苦難を克服していきながら，どのように新しい日本を建設していったのかについて，学習に見通しをもち，振り返りを行いながら課題の解決に取り組もうとしている。 ①冷戦が加速し，東西の対立が深まった影響を受けて，日本が国際社会に復帰し，その後外交関係を広げていったことを理解している。 ②日本がどのように国際社会に復帰し，経済成長を遂げていったのかを，国際社会の動きと関連付けながら考察する。 （学習に取り組む態度、ミニテスト、プリント提出、定期考査）
	7月	9	3節 新たな時代の日本と世界 ７章現代の日本と私たち １節 戦後日本の出発	・ 冷戦の終結の過程や，その後の日本や世界にどのような課題があるのか理解する。 ・ 現代の日本の特色を，多面的・多角的に考察させ，表現する。 現代社会の諸課題を意識し，SDGsなどに関心を持ち，持続可能な社会を創っていこうとする態度を身に付ける。	○	○	○	**①日本の国内外の動きや国際社会における役割を理解している。** **②冷戦後の日本の課題を，国際社会との関わりや，国境を越えて解決に取り組む人々に着目し，多面的・多角的に考察している。** **②現代の日本の特色を，近代と比較しながら多面的・多角的に考察し，表現している。** **③現代日本の役割や課題について，学習に見通しをもち，振り返りを行いながら課題の解決に取り組もうとしている。** **（学習に取り組む態度、ミニテスト、定期考査）**

	8月	4	私たちの生活と文化	・文化は私たちの生活とどのように結びついているかを考える。 ・日本の文化がどのように形づくられ，どのような特色があるのかを理解する。 ・文化を受け継ぎ，新たな文化を創造することにどのような意義があるのか考える。	○	○		①現代社会における文化の意義や影響について理解している。 ②文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③文化の特色ついて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている （ミニテスト・定期考査）
	9月	14	人権と日本国憲法	・民主主義と人権の保障は，どのような歴史過程をたどって実現してきたのかを理解する。 ・国民が主権を持つとはどのようなことなのかを理解する。 ・日本国憲法では，平和主義をどのように定めているかを理解する	○	○	○	①日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ①日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と国事行為について理解している。 ②個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，対話的な活動を通じ，日本国憲法が大切にされてきた理由について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③日本国憲法が大切にされてきた理由について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
			人権と共生社会	・日本国憲法では，基本的人権をどのように保障しているかを理解する。 ・日本国憲法では，自由権、平等権、社会権をどのように保障しているかを理解する。 ・現代社会に残る偏見や差別をなくすために，どのような取り組みが求められているかを考える。 ・人権を守るために，日本国憲法ではどのような権利が保障されているのかを理解する ・社会の変化に伴って，どのような人権が新たに求められているのかを理解する。	○	○	○	①日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ①日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と国事行為について理解している。 ②個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，対話的な活動を通じ，日本国憲法が大切にされてきた理由について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③日本国憲法が大切にされてきた理由について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 （学習に取り組む態度、ミニテスト、プリント提出、定期考査）
	10月	14	現代の民主政治	・民主主義で物事を決める際に必要とされることや，私たちに求められていることについて考察し，適切に表現する。 ・日本の政治において，選挙はどのように行われているかを理解する。 ・政党は政治においてどのような役割を果たしているのかを考える。 ・政治においてマスメディアは，私たちとどのようにかかわっているのかを考える。	○	○	○	①議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ②民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
			国の政治の仕組み	・民主主義で物事を決める際に必要とされることや，私たちに求められていることについて考察し，適切に表現する。 ・日本の政治において，選挙はどのように行われているかを理解する。 ・政党は政治においてどのような役割を果たしているのかを考える。 ・政治においてマスメディアは，私たちとどのようにかかわっているのかを考える。	○	○	○	①議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ②民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 （学習に取り組む態度、ミニテスト、プリント提出、定期考査）
	11月	15	地方自治と私たち	・日本国憲法では，地方自治についてどのように定めているのかを理解する。 ・地方公共団体は，どのようなしくみで仕事を行っているのかを理解する。 ・地方公共団体の財政はどのような状況になっており，またどのような課題があるのかを考える。 ・国民が政治に参加する方法について理解する。	○	○	○	①地方自治の基本的な考え方について理解している。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解している。 ②民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

			国際社会の仕組み	・国際社会にはどのようなルールがあるのかを考える。 ・現代の日本では,領土をめぐってどのような動きがあるのかを理解する。 ・国際連合は国際社会の中で,どのような役割を果たしているのかを理解する。 ・地域紛争をなくし,平和を実現するうえで,どのような課題があるのかを考える。 ・核兵器や軍縮を巡る状況は,どのように変化してきたかを理解する。 ・現代の国際社会にはどのような課題があるのかを理解する。 ・唯一の被爆国であり,平和主義をかかげる日本は,国際社会でどのような役割を果たすべきかを考える。	○	○	○	**①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ①領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ②日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 （学習に取り組む態度・授業プリント・ミニテスト・プリント提出・定期考査）**
	12月	14	◇経済分野 １節 消費生活と市場経済	・個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現する。 現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら，主体的に社会に関わる。	○	○	○	①消費生活と市場経済の関係について理解している。 ②社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。 ③現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。
			２節 生産と労働 ３節 市場経済の仕組みと金融	・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解する。 ・ 市場経済の基本的な考え方について理解する。 ・ 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わる。	○		○	**①現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ①勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ②市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や，財政及び租税の役割について，現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり議論している。 ③市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。 （学習に取り組む態度、ミニテスト、プリント提出、定期考査）**
３学期	1月	7	３節 市場経済の仕組みと金融 ４節 財政と国民の福祉	・金融機関と金融政策の基本を理解する。 ・経済のグローバル化について理解する。 ・ 財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解する。 ・ 国民の生活と政府の役割についての課題を主体的に追及する。	○	○	○	①現代の金融などの仕組みや働き、円高・円安を理解している。 ② 景気の変動に対して，どのような取り組みがなされているのかについて，日本銀行の金融政策と景気を関連付けながら考察し，表現している ②財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③国民の生活と政府の役割について取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。 ①財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。 （学習に取り組む態度、ミニテスト、定期考査）
	2月	5	5節 これからの経済と社会	・ 公害の防止など環境の保全について，その意義を理解する。 ・国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現する。 ・ 国民の生活と政府の役割について，その課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら，主体的に社会に関わる。	○	○		①公害の防止など環境の保全について，その意義を理解している。 ②国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③国民の生活と政府の役割について，主体的に社会に関わろうとしている。
		6	より良い社会を目指して	・ 持続可能な社会を実現するためには，様々な社会の課題を解決することが必要であることを理解する。 ・ 持続可能な社会を実現するための解決すべき社会の課題にはどのようなものがあるか考察する。 ・ 社会の課題を解決するために自分には何ができるか考え，その解決策を提案する。	○	○	○	①持続可能な社会を実現するためには，様々な社会の課題を解決することが必要であることを理解している ②持続可能な社会の実現に向けて探究するうえで適切な探究課題を設定している。 ③持続可能な社会の形成者として解決すべき課題の考察に，章の学習の見通しを持って取り組もうとしている。 （学習に取り組む態度、授業プリント、レポート・プリント提出、定期考査）
	3月	1	地球社会と私たち	・地球温暖化防止について,国際社会ではどのような取り組みが進められているのかを理解する。 ・省資源や省エネルギーに,日本はどのように取り組んでいけばよいのかを考える。 ・貧困問題の解消に向けて,国際社会でどのような取り組みが進められているかを理解する。 ・地球規模の社会的課題を解決するために,どのような国際協調が求められているかを考える。		○	○	①地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。 ③世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 （授業プリント・発表）